

「tovo」について

「tovo/トヴォ」は東日本大震災によって、親を失った子どもたちを、青森から支援するプロジェクトです。

チャリティーグッズを制作・販売し、その経費を除いた全ての収益を、長期的な子どもたちの心のケアの為、あしなが育英会へ継続的に寄付し、青森から「あなたがたのそばにいつもいますよ」と伝え続けます。

おかげさまで、**2011年6月から2017年8月現在までの総寄付金は「¥5,435,849」となりました。**
10年間（2011年6月～2021年6月まで）の活動を目標にしています。引き続きのご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

チャリティ缶バッヂなどのお取り扱い店（順不同／2017年9月現在）

【青森市】A-Factory／アトリエCANOE／もぐらや
／oppn plaza sora／oppn plaza sena／大澤歯科医院
／とき歯科
【弘前市】HOMWORKS 4th／bamboooforest／
津軽工房社／中国料理 豪華樓
【黒石市】木田理容所
【青森県上北郡】TBT英会話教室

【岡山県岡山市】レストランMint

ボランティア大募集中！

2017年6月、トヴォは活動開始より6年を迎ました。もうなのか、まだなのか、感じ方はそれぞれですが、活動目標まで残り4年を切りました。青森県内、県外問わず、残り4年を共に試行錯誤しながら歩んでくださるボランティアを大募集中です！
メール：tovo 代表 小山田 和正 (info@tovo2011.com)

フリーペーパー「tovo plus」配布ご協力店（順不同／2017年9月現在）

【山形県】(有)熊谷伊兵治ナメコ生産所／まちやんなめこ
【茨城県】art space bar conflictable cube コンフレ
【東京都】Only Free Paper／RE:BIRTH STUDIO
【大阪府】はっち
【岡山県】ブックランドあきば岡山高島店／レストラン Mint
【青森県青森市】A-Factory／アピオあおもり／
肴ダイニング心／ふたば写真館／もぐらや／SUBLIME
アトリエCANOE／oppn plaza sora／oppn plaza sena／
ヒーリングサロンLULU／カフェ・デ・ジターヌ／BEAM LLC.

【青森県弘前市】まちなか情報センター／弘前市役所／chicori／弦や／バンブーフォレスト／太平洋画房
【青森県五所川原市】むすぶカフェ えいぶりる
【青森県黒石市】木田理容所／津軽黒石 こみせ駅／おかしのオクムラ
【青森県北津軽郡板柳町】monoHAUS
【青森県上北郡七戸町】TBT英会話教室



PDFを「ブクログのパブー」にて配信中！



今年も「どうでしょうキャラバン2017」全11会場内、
通称バッタ屋にて「トヴォの飴バッヂ」を販売させて頂きます！
青森県から静岡県の皆様の皆さん、来年も宜しくお願ひ致します！

ついに、青森が誇る生ゆるキャラ「りんご飴マン」が表紙に登場！撮影秘話

今回の「tovo paper」は、2017年9月、青森市アスパムからはじめる「どうでしょうキャラバン2017」にタイミングを合わせて作られている。「せっかくならうどうでしょうファンに届く写真を」という話になつた訳だが、正直これには困った。私は「水曜どうでしょう」をほとんど見たことがないのだ。とりあえず、どうでしょうファンの友だちに声をかける。彼らは1つ質問をすると答えが10回返ってくるような熱量を持っている。中でも、福見和彦さんご夫婦は色々と教えて頂き、写真のアイデアもほとんどご夫婦（主に奥さま）から頂いたものである。ファンの皆さまの目に留まれば幸いである。モデルは東京から青森に移住して活動している生ゆるキャラ「りんご飴マン」。彼のことはここでは説明出来ないが、この写真と共に、ぜひとも全国の皆さんに知って頂きたいと願っている。（工藤文昭）

トヴォの最新情報は以下で更新中です。

tovo2011.com shop.tovo2011.com @tovo2011
https://www.facebook.com/tovo2011 @tovo2011

【発 行】代表：小山田 和正 (mail: info@tovo2011.com)
住所：〒037-0056 青森県五所川原市末広町14-1
【モデル】りんご飴マン【表紙撮影】工藤文昭



www.tovo2011.com



岩手県山田町



2017年7月23日(日)、岩手県山田町「鯨と海の科学館前 船越公園」にて開催された「ウミネコJAM 2017」にて、tovoチャリティグッズの販売をさせて頂きました。岩手県のイベント出店は初めてで、どうなることかと不安でしたが、皆さんに暖かく迎えて頂き、楽しい1日となりました。

岩手県下閉伊郡山田町は、岩手県の太平洋沿岸の中部に位置し、人口が約16,000人、6.677世帯(平成29年8月現在)の町です。2011年3月11日に発生した東日本大震災では震度5弱を記録し、この地震によって起った高さ10m(最大潮上高25m)にも及ぶ大津波によって町は壊滅状態になりました。また、地震発生後、大火事が発生し、消火活動が十分に行えないと市街地は広範囲にわたって焼失、この震災により800人以上の方が亡くなり、半分以上の方が家を失いました。

「ウミネコJAM」は、東日本大震災によって壊滅的な被害を受けた岩手県山田町で開催されている音楽イベントで



す。音楽を通じて三陸沿岸の人々の交流を図るとともに、震災の犠牲になった方々の追悼と、完全復興への願いを新たにする音楽祭で、今回は昨年に続き2回目の開催です。

今年の会場となる「船越公園」は、震災前にはたくさんの花が咲き誇る観光スポットだった場所で、今年2017年4月に再開されたばかり。また、公園近くの「浦の浜海水浴場」も、砂浜を再生し、今夏より7年ぶりに海開きとなりました。また、メインステージ後方の円形の建物は、震災後、長く休館となっていた「鯨と海の科学館」で、今年7月、6年ぶり再開したばかりです。

山田町の掲げる復興計画によると、現在は「復旧期」から「再生期」段階に入っています。新しい土地への建設開始と各種活動の本格始動をする期間です。その計画通り、着々と復興が進んでいますが、この公園の周りは工事中の箇所が多く、まだまだこれからという印象を持ちました。「ウミネコJAM」は、その復興を更に後押しする音楽イベントといえるでしょう。

僕らは、前日、7月22日(土)夕方4時に、青森市浪岡インターに集合し、バンに乗り換え、4人で山田町に向かいました。途中、秋田県境辺りで、前日から続く豪雨による土砂災害があり、一旦高速を降りなければいけませんでした。それまで、なんとか曇りだった天気も、盛岡インターを降りる頃には雨模様になりました。盛岡で夕食をとり、一般道で山田町に向かうにつれ、雨足は強くなっていました。



「新しい道が多く、ナビが使えないと思うので」と、山田町「竹松や」の佐藤澤さんに指定された待ち合わせ場所「道の駅やまだ」に着いたのは、夜10時頃。すぐに佐藤澤さんが迎えに来てくれて、まずは明日の会場に寄りました。関係者の方々が、雨の中、夜遅くまで設営作業をされていました。まわりは真っ暗ではありました。時折強く吹く海風が、僕たちに、約300kmを走って太平洋沿岸までたどり着いたことを気づかせてくれました。

当日、7月23日(日)、朝8時にパンガローを出て、会場に向かいました。雨が降ったり、止んだりという天候の中、テントを張り、ブースの設営準備をしました。早朝から、隣の秋田県の記録的な大雨による河川の氾濫や土砂災害のニュースが繰り返し放送されていました。岩手県でも、その影響が心配されました。会場は終日それほど大降りにな

ることはなく、時折晴れ間もみえ、各々がイベントを楽しんでいました。(最近はみんなフェス慣れして、多少の雨くらいは楽しみの一部になっていますね!)



tovoブースは、渡辺俊美さんの歌!楽しかった!

会場は、「バンドステージ」と「ストリートブース」という2箇所のステージに分かれ、その周りを囲むようにたくさんのがんばりで、物販のブースが並んでいました。バンドステージでは、渡辺俊美、Keyco feat. MC Mystic、Likkle Mai & The K、光風&GREEN MASSIVE、MINAMOTO JAMSなどの他、盛岡の佐々木龍大番頭、久慈のブンドウズ、また、山田町のやまだなかよしだんすくらぶ、宮古のM.D.S、釜石のいがつたんたらによるキッズダンスが披露されました。また、ストリートブースでは、水沢のDEFRUG、釜石のE.O.P、山田町の91DOGGGSの他、地元のDJ陣によるパフォーマンスが披露されました。地元の出演者が多いことが楽しめましたし、彼らの活動が山田町を支えていると思うと感慨深いものがありました。



また、今イベントは、「エネルギーも地産地消で」と、釜石を拠点に活動されている一般社団法人UNITED GREENにより、イベントで使用する電力は、地元の方々より集まった廃食油を原料としたバイオディーゼルや太陽光を利用した自然再生エネルギーで賄われていました。震災以降、自分が使うエネルギーについて興味を持つ方が増えたように思いますが、今回のように悪天候の中でも終日問題なく再生エネルギーが使用されているのを見ると、もっと、このような活動が(特に青森県でも)気軽に広がっていいのになと思いました。

他、いろいろ書きたいこともあるのですが、紙面が足りません…。ぜひ、全国の皆さんに知って頂き、参加して頂きたい音楽イベントです。最後になりますが、tovoの活動も6年目に入り、今回、岩手県山田町の皆様とご縁を頂戴し、このようなイベントにお説き頂きましたこと深く感謝しております!ありがとうございました。是非来年もお頼い致します!

(テキスト/写真 小山田和正)

